



けん玉あそび



なべなべそめけ

ブリッジ



ドッジボール

砂場あそび



文化芸術(雅楽)

あらぶる鬼から

こどもを守る!

真 剣



こどもたちの無垢で真剣な眼差しは、わたしたち大人が、忙しい日常の中で忘れてかけている大切な何かを、呼び覚ましてくれます。それは、一々の言葉で表せるものではなく、人それぞれの心の奥底に潜んでいて、子どもの真剣な姿を目にする度、何ともいえない『想い』とともに呼び覚まされるのです。

時は懐かしく、温かく、でも、忘れていたその真剣な眼差しを想うとき、ちよっぴり羨ましく……

一生懸命に取り組んできたこの一年は、子どもたちにとって素晴らしい宝物です。その宝物を、これからもずっと大切にしたいと願います。

さあ、わたしたち大人も負けてはいられません！真剣に、前向きに、これからもがんばって生きましょう！

副園長 釜谷 康江



二月二十六日(火)『なわとびチャンピオン大会』
最後までよく頑張りましたね。
とても素晴らしい大会でした！

二月一日(木) 豆まき会
「鬼はーそと！
福はーうちー！」
子どもたちの真剣な眼差しが
素晴らしいですね！

二月十五日(金)
『劇あそび発表会』
今年も、子どもたちの純粋
無垢な演技に、見て下さるお
客様の心をオカホカと温めて
くれました。また、クラスの集
大成として、子どもたちの成
長が大きく感じられる素晴
らしい発表会となりました。

二月二十七日
(水)
幼稚園の裏山
『うるおいの森』に

うるおいの森

「うるおいの森」では、かつての天白溪の豊かな自然を目指し、起伏に富んだ地形を生かしながら、散策や自然観察の場とするともに、市内では貴重となった湿地や湧水池を再生しています。



『早春よもやま話』

昨年末、京都から園部へ向かう列車の中で、向かい合いの客席で二人の子どもに父親が話しています。

「何やるにしても、楽しくやる精神が大事！」父親の熱弁に幼稚園児らしき子は、きよんとし、小学生低学年の子は、うつむき加減の渋い顔で聞いています。

その後、会話をきいていると、どうやら今から4時間ぐらい家族で山登りをするようです。母親が「大丈夫だよ、いっしょに行こう」と呼びかけ、程なく、溪谷のある亀岡駅で、おりていきました。

どんな体験も初めは不安や、やりたくない事もあるでしょう。ただ、こんな家族の会話が後で懐かしい思い出となり、時にアスリートや立派な進路に導く一コマになると思います。やり抜く力、心の力は、人格人生の基礎です。

あと一ヶ月程で改元になります。平成天皇が在位三十年で国民に向けてメッセージを届けました。「私が天皇の務めを果たせたのは、過去から今に至る長い年月に日本人が作り上げてきた、この国の持つ民度のおかげでした。」

民度とは、親から子へ、先祖から子孫への教育の賜物です。

新しい春、新しい年号に胸をふくらませ、楽しくやり抜く日本人を、ご家族で育てましょう。

園長 岡田 勝彦